

2023年4月4日  
一般財団法人自転車産業振興協会

## 2023年 TAIPEI CYCLE（台北国際自転車展覧会） 日本パビリオン出展報告

当会は我が国自転車産業の貿易促進のため、2015年より台湾の台北国際自転車展覧会において出展企業を募集の上、経費面での補助のほか出展に係る諸手続き並びに現地でのサポート等、共同出展事業を実施している。

### 1) 展示会概要

名称： 2023年TAIPEI CYCLE（台北国際自転車展覧会）  
会期： 2023年3月22日～3月25日(4日間)  
場所： 中華民国台北市 南港展覽館1号館、2号館(TaiNEX1 & 2)  
主催者： 中華民国對外貿易發展協會 (TAITRA)  
出展社数： 約850社(3,050小間)

### 2) 展示会全体

世界的な新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、2019年3月開催以来約4年振りの対面展示会となる本展示会は、台北市東部にある南港展覽館(TaiNEX)の1号館、2号館にて31ヶ国、約850社の出展社を迎えて開催された。展示会主催者によると、欧州出展者の開催直前キャンセルや中国パビリオンの出展中止など世界情勢を反映した影響はあったものの、展示会全体としては久々の開催を歓迎する声が多く寄せられたようである。主催者発表によると、世界81ヶ国以上、4,200人以上のバイヤーから参加。約17,600人の来場者があった。

今年から展示会全体で5つのテーマを設定（Resilient Supply Chain, Digital Connections, Vibrant Innovations, Dynamic Lifestyle, and Sustainable Moves）、世界的な温室効果ガス排出ゼロへ向けた動きにならない、将来的に持続可能な業界への変貌を展示会目標として掲げ、これら5つのテーマに関連する様々なセミナーを開催していた。特に今年はe-bikeカテゴリーの中でも欧州で拡大を見せている電動カーゴバイクに関する製品展示が多く見られた。

また今年から自転車ツーリズムエリアが新設され、日本(茨城県)、台湾の観光協会が趣向を凝らしたブースを展開。多くの関係者が訪れていた。



自転車ツーリズムエリア(茨城県)



1号館4階中心部

### 3) 展示会場

南港展覽館 1 号館 1 階は台湾自転車部品企業を中心としたエリア、4階は欧米企業や国別パビリオンを中心としたエリア、そして同2号館 1 階の一部をスポーツ業界展示会と併催で自転車ウェアやホイール等の展示エリアとして割り振られた。

また会場屋外スペースに試乗コースを設置。特に e-bike 関連の試乗に人気が集まっていた。なお、展示会場は MRT(地下鉄) 駅直結で、1号館・2号館間は地下通路で移動可能と利便性の高い会場となっている。



南港展覽館1号館全景



屋外試乗コース(Outdoor demo)

### 4) 日本パビリオン

今年は出展者募集の段階で台湾への入国制限が完全に解除されていなかった影響により、10社・県、14小間(出展者詳細は別表参照)と例年と比べて少ない出展者数となった。

欧州パビリオンと隣り合わせの1号館4階中心部メイン通路沿いの好立地を割り振られ、次年度以降も引き続きこの立地は維持される予定である(展示会関係者談)。

パビリオン内には共同出展社がビジネスに集中できるよう、専用の休憩室やミーティングルーム、倉庫を用意。必要に応じて備品の貸し出しを行うなどサポートを実施した。



日本パビリオン(1)



日本パビリオン(2)

### 5)共同出展社

日本パビリオンは日本に本社のある中小自転車企業で構成され、自転車主要部品(ハンドル、ステム、ペダル、マッドガード、ディスクブレーキ等)や折り畳み自転車、ウェアやキャップ等の自転車アパレル用品、サイクルスタンド、チャイルドシート用レインカバーなど多様な企業が継続・新規含めて9社参加。海外での日本製品の安定した人気から、多くの活気ある商談が行われた。また今年から自転車観光産業の出展も受け入れ、静岡県庁が出展。現地の風景映像や種類豊富なノベルティを使い積極的なインバウンド招致活動で多くの集客を見せていた。ここでの集客の流れが他自転車関連企業にも影響し、相乗効果でパビリオン全体に多くの来場者があった。

また主催者による日本パビリオン全出展社のインタビュー取材が行われ、映像でのインタビューから面談まで長時間に渡って実施。出展を重ねる度に、展示会での当パビリオンに対する注目度の高まりを感じる事ができた。



取材風景(MKS)



出展社休憩室・倉庫

## 6)次回開催予定

次回は2024年3月6日～9日の4日間、同会場で実施予定である。先にも述べたとおり、日本パビリオンは引き続き好立地での出展予定で、当会として今後も日本自転車中小企業の輸出促進に向けて支援活動を継続していく予定である。

以上

## 2023年度共同出展社一覧

| 会社名                                | 展示商品                    | 企業 URL  |
|------------------------------------|-------------------------|---|
| 株式会社ウェイブワン                         | サイクルウェア、他アイテム           | <a href="https://www.wave-one.com/shop/">https://www.wave-one.com/shop/</a>   |
| 株式会社日東                             | ハンドル、ステム<br>キャリア、シートポスト | <a href="http://nitto-tokyo.sakura.ne.jp/">http://nitto-tokyo.sakura.ne.jp/</a>   |
| 丸八工機株式会社                           | 自転車収納ラック                | <a href="https://iwa.nagoya/english">https://iwa.nagoya/english</a>   |
| 株式会社大久保製作所                         | チャイルドシートレインカバー          | <a href="https://www.yama-maruto.com/">https://www.yama-maruto.com/</a>   |
| 株式会社テック・ワン                         | 折りたたみ自転車                | <a href="https://www.caracle.co.jp">https://www.caracle.co.jp</a>   |
| 静岡県庁<br>スポーツ・文化観光部<br>スポーツ局スポーツ政策課 | 観光                      | <a href="https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-370rugbyworldcup2019top.html">https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-370rugbyworldcup2019top.html</a> |
| 株式会社本所工研                           | どろよけ、周辺パーツ              | <a href="https://www.honjo-mudguards.jp/">https://www.honjo-mudguards.jp/</a>   |
| 株式会社三ヶ島製作所                         | 自転車用ペダル                 | <a href="http://www.mkspedal.com/?q=ja">http://www.mkspedal.com/?q=ja</a>   |
| 株式会社グロータック                         | ブレーキ・ペダル・ハブ             | <a href="https://growtac.com/products/mdcs/">https://growtac.com/products/mdcs/</a>   |
| 株式会社アークズ                           | チャイルドシートレインカバー          | <a href="https://norokka.com/product_cat/rain-cover/">https://norokka.com/product_cat/rain-cover/</a>   |